

## 高津区おはなしアーカイブ

●木村 俊道（きむら としみち）さん

昭和12年生まれ 75歳

川崎市高津区二子在住



### ◆高津区にお住まいになったきっかけは

昭和31年、高校卒業後、北海道の日高から上京しました。札幌に就職口がありましたが、それを振りきってきました。

高級住宅地と聞いていた世田谷区に憧れて住みたかったのですが、家賃がとて高くて無理でし

た。その世田谷に川を挟んで近いということ、なんとなく二子に住みました。

もちろん、友だちなど1人もいませんから、よそ者として恥をかきたくない一心で無我夢中で働きました。信用をつけることが大事と頑張りました。そのせいか、勤務先の社長に可愛がられ、また、地域の人も交流が深まり、その後いろいろと地元のことにも頼まれるようになりました。

小学校のPTA会長や子ども会会長などを経て、現在は二子第1町内会長を務めています。

### ◆ご住所が5丁目ですが、第1町内会になつたいきさつは

そうなんです、このへんは5丁目なのですが、第1町内会に属しています。駅が高津にありますから、昔は駅に近い場所から1丁目、2丁目となり、その地番の若い所から町内会に分けていききました。

昭和24年に町会ができ、1番最初は第4町内会ができました。その後、いきさつはわからないのですが、第4、5町内会が離れているので2つ

で「新生会」となったこともあったと聞いたことがあります。

その後、溝口と二子が入り組んでいるので町内会の区割りについて話し合ったときがありました。力関係がからみ、大変でした。町会名はそのままにしてほしいという声もあつたりで、結局決定するまでに2、3年かかりました。その結果現在、溝口の住所でも、第一町内会の住民がいます。今、考えるとなんだか、どちらでも良かったのではないかという気もしますが、やはり何百年も代々住んでる人たちにとっては「変わる」というのは一大事だと思いますよ。

私も、今住んでるこの二子の町名が坂戸になると聞いたときは、反対しました。あまりにも、坂戸の中心から離れていると思いましたが。

### ◆小学校のPTA会長時代のお話を

、上の子どもが東高津小学校に入学したのち、PTAの監査を頼まれ1年引き受けました。その子が3年のとき、府中県道を挟んで、坂戸小学校ができたので、そちらに転校することになりました。坂戸小学校へは、東高津小学校と久本小学校から

それぞれ低学年の200名余りが移りました。1学年は2クラスで、1クラスは40名でした。当時は、校長室もなく、初めて校舎を見たとき、砂漠の中にポツンとあるような気がしました。

坂戸小学校では、2人の子どもが卒業するまでの4年間、PTA会長を務めました。当時は、子どもが在校生でなくても地域のそれなりの方がPTAの役員に入っていましたね。新設校で何もなかったため、校歌や校章を作ったり、校旗のために寄付を募ったりしました。特にPTAの規約作りは大変でした。

PTA会長退任後は、少し疲れたので2年間お休みをいただきました。その後、子ども会会長を1年やったと思ったら、いつのまにか町内会長ですよ(笑)。

### ◆その町内会や子ども会の活動に関してはいかがですか

各町内会は会館を持っています。第1と第5町内会とでは、二子老人いこいの家を建てました。維持費は町会費でまかない、町会の行事などに使っています。また、社協から補助金が出ており、高齢者は無料で使えるというシステムです。現在、

月に1回、社会福祉協議会が高齢者の会食会を開いています。

第2、3、4町内会は二子神社の境内にある二子会館を使っています。

現在、二子塚公園にトロリーバスが置いてありますが、この公園は昔、米ときや洗い物に使っていた川を埋め立ててできたそうです。昭和40年にトロリーバスが置かれた経緯はよく知りませんが、第5町内会のもので、会議に使ったと聞いています。第5町内会の子ども会メンバーも中で勉強できたとか。トロリーバスには、普段は鍵がかかっている、普通に行っても中に入れません。第5町内会以外が使うときは、その日が空いているかどうか聞く必要があったようです。子どもたちがバスの中で遊んでいる当時の写真は何かイベントのときのものでしょうか。私は自宅がその公園に近いので、バスの存在は知っていますが、第2、3、4町内会ではバスのことを知らない人も多いのでは。子ども会に関しては現在、各町内会の中に1つずつありますが、以前は第3町内会だけは、高津小学校と東高津小学校の2校に通っている子どもがいたために2つ存在しました。

イベントとしては真夏は無理ですが、野球、バレーボール、ドッチボールなど各子ども会対抗戦で、多摩川で、ぶっつけ本番で開催します。

その他、バスを借りて1日遠足に行ったりもします。以前、多摩テックに行ったときは、大人も行きたがり、「1台のバスでは、こりゃあ、乗りきれないかなあ」とやきもきしたこともあります。あとは、お祭りですね。

### ◆そのお祭りについてお聞かせください

二子神社と溝の口神社のお祭りがあります。二子のほうは、以前は10月10日でしたが、今は体育の日の前の日の土日、溝の口は、以前は9月15日でしたが、今は敬老の日の前の土日で開きます。溝の口はほとんど毎年雨で、「しょんべん祭り」と言われるくらいです(笑)。今年も見事に雨でした。

雨の日は、御輿に関してとにかく大変です。中止にすると奉納金が集まらず維持費の問題が出てきますし、御輿を出して濡らすと、乾かすのに苦労します。絹や麻の部分がカビてしまうと使え

ないし、ちょっとした修理も7、80万円くらいかかってしまいます。

昔から子ども御輿はありませんでした。担ぎ手がいまませんでしたから。子どもたちは、屋台が楽しみだし、今も子どもたちなりに楽しんでいるようです。

町内会が子ども会のお菓子を出すのですが、お菓子の足りなくなってしまった子ども会は、余っている子ども会から融通してもらおうともありません。祭りはお金がかかるので、なかなか黒字は難しいですね。お祭りも全体を考えないといけないと思っています。

お祭りは、町内会の当番制で仕切りますが、これがけっこう一日がかりで大変です。お宮と子ども文化センターにこしらえた御神酒所に詰めます。今は、自転車と携帯があるからだいぶ、楽になりました。でもやはり、雨は大敵です。とにかくテントが濡れて中までビショビショになりますからね。

### ◆昭和30年代の町の様子は

戦前というか昭和初めに耕地整理がありました。当時、そういう組合が元住吉にあって、私もその当時の耕地整理の図をトレーシングペーパーで写したりしていたのですが、いつのまにか失くしてしまいました。本当に残念です。あれがあったら、当時の土地の様子はすぐわかると思います。

昭和40年くらいまで、自宅と二ヶ領用水の間は田んぼでした。自宅前の橋のところに少し家があったのと、府中街道沿いに家並みがありました。その裏はやはり田んぼでした。夜遅く帰宅するとカエルの声が凄かったです。

昭和50年代に田んぼがなくなったなあ。子ども文化センターは建って20年は経ちますから、すでにその頃は田んぼはなかったことになりましたね。

昔の区役所は今の「大山街道ふるさと館」の場所にあり、その後「てくのかわさき」の場所に移転、今の区役所はその後に移りました。昔のふるさと館の隣りは石屋で、その通りを挟んで高津郵便局がありました。本当に田舎町という感じでしたねえ。

昭和41年に田園都市線が溝の口から長津田まで開通しましたが、43年頃はまだ駅前が昔のマーケットがあり、道も土でドロドロしてましたっけ。

今の溝の口駅前、マルエツあたりだって、昔は田んぼですよ。昭和51年に田園都市線が高架になって、高津と二子新地が上に上がり、踏切がなくなりました。二子新地は一番最後でしたね。当時は、高架になると音がうるさいとか、階段の上り下りが面倒くさいとかいろいろと声があがりました。

昭和55年になっても溝の口はまだ道が舗装されてなくて「どぶの口」とか言われてましたよ。

◆約60年間お住いですが、特別な思い出はやはり、昭和35年の神奈川台風です。裏の川が氾濫し床上浸水を経験しました。当時の自宅は道路より少し下に建っていました。川の土手が道という感じでしたから。その台風のときは、多摩川も危なかったと聞いています。

昔は、二子橋の下のところは汚かったですが、上のほうでは、水が綺麗で泳げました。本当に6

0年前と比べると「変わったなあ」の一言しかありません。

(平成25年9月26日)